

ちいさな証

出会いという贈り物
今村葉子

スイス日本語福音キリスト教会会員



先日、行なわれたスイス、ミラノ合同修養会の期間中、沢山の事を思いました。

私がこの修養会で頂いた事をキーワードで表すなら「出会い」です。神様、イエス様との出会い。そしてミラノ賛美教会の皆さんとの出会い。

「出会い」は本当に神様が用意して下さっている、とても不思議でスリリングですばらしいプレゼントだと思います。今回の修養会では講師として、ハワイの中野雄一郎先生とミラノの内村伸之先生をお招き致しましたが、師と慕う人と巡り会い、語り合える事程、素晴らしい出会いはないと思われました。

お二人は先生と生徒の間柄。でも私から見れば理想のお父さんと息子のように見えました。お二人ともお互いに仕え合い、労り合い、尊敬し合っておられました。親子でも、兄弟姉妹でも、師弟でも、社長と部下でも、すべての人間関係がこのように存在するのなら、そこは本当に「天国だな～」と思います。神様が私達に願っておられる事は遠い未来に実現するものではなく、最も近い所で実現して行く人間関係なのだろう。

がんばってできるものでも、我慢してできるものでもないけれど、すぐあきらめモードになりがちな私ですが、中野先生の「魚だったら、鱒を選びましょうよ！」の声を受けて、私は「この地上でも私達のゴールである天の御国を慕いつつ、主にある家族を建て上げて行く一歩を踏み出します。」と中野先生のパワーに背中を押され、思わず、そう神様に言ってしまいました！「～だったら（鱒）」とか、「～したい（鯛）」じゃなく「～します（鱒）」私は鱒より鯛や鱈が好物ですが、神様が共におられるのですから、鱒を選びますよ！



中野先生ご夫妻様、内村先生ご夫妻様、ミラノ賛美教会の皆様、そして、今回も陰で沢山助けてくれた、スイス日本語福音キリスト教会のお助けシスター、ブラザーの皆様、ありがとうございました！！

そして、なによりもいつも私達の心の想いを理解して、最善を成して下さる神様に心から感謝を捧げます。

